

# 平常展

## 1 階

近代の敦賀

明治・大正・昭和

文明開化の代名詞ともいえる鉄道がいち早く敷設された敦賀は、1889（明治22）年に全通した東海道線により神戸・東京と繋がる日本海側唯一のまちとなりました。また、1899（明治32）年には開港場の指定を受け、1902（明治35）年には、敦賀からロシアのウラジオストクを結ぶ航路の直行便が開設されています。ヨーロッパへの玄関口となった敦賀は「東洋の波止場」とも呼ばれました。

太平洋戦争末期の1945年7月12日、北陸初の空襲を受け、敦賀のまちや人々は大きな被害を受けました。戦後、敦賀の人々はまちの復興に尽力します。そして、現代の敦賀もまた「鉄道と港のまち」として発展し続けています。

1階ではそんな近代から現代の敦賀のまちの発展について紹介しています。



## 2 階

古代・中世・近世の敦賀

海岸線が深く入り込み波穏やかな敦賀湾は、天然の良港として、多くの船の停泊場でした。また、敦賀の南側に位置する琵琶湖の湖上交通とも結ばれて、関西地方や東海地方もその商圏としてきました。この敦賀の歴史は、「みなど」とともに、また「みなど」を中心として展開しており、これに沿って古代から中世・近世末頃までの時代ごとのトピックや資料を紹介しています。



※下記の期間は特別展を行っているため平常展の一部が観覧できません。  
10月16日～11月29日  
詳細な展示予定は裏面をご覧ください。

# — INFORMATION —

ご利用案内

- 開館時間  
9:00～17:00（受付は16:30まで）
- 入館料  
一般 300円（団体250円）  
高校生以下無料  
※隣接するみなとつるが山車会館との共通券は500円
- レファレンスルーム  
地下1階にございます。ご利用の際は受付でお申し出ください。
- 地下室・3階講堂の貸出  
コンサート等で利用できる講堂とワークショップ等で利用できる地下室の貸館を行っています。  
※料金や利用手続きについてはホームページをご覧ください。直接お問い合わせください。

	ご利用料金	
	1時間あたり	1日
講堂	500円	3,000円
地下室	300円	1,500円

- アクセス  
《電車（最寄「敦賀駅」から）》  
・徒歩約25分  
・コミュニティバス約10分  
「山車会館」、「博物館通り」下車徒歩約1分  
「神楽町」下車徒歩約10分  
・レンタサイクル約15分  
《車》  
・敦賀インターチェンジから車で約7分



## 敦賀市立博物館

TSURUGA MUNICIPAL MUSEUM

〒914-0062 福井県敦賀市相生町7番8号  
電話：0770-25-7033 / FAX:0770-47-6131  
<https://tsuruga-municipal-museum.jp/>



博物館 HP

# 令和8年度

2026.4～2027.3

## 展覧会スケジュール

# 敦賀市立博物館



TSURUGA MUNICIPAL MUSEUM

